

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 スタイライフ株式会社
 コード番号 3037 URL <http://www.stylife.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 真二
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中 研悟

TEL 03-5785-7001

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	6,119	10.4	△18	—	△29	—	△33	—
22年3月期第3四半期	5,543	8.7	△69	—	△65	—	174	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△1,680.45	—
22年3月期第3四半期	8,759.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,023	2,282	45.4	114,642.61
22年3月期	4,902	2,355	48.0	118,315.83

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,282百万円 22年3月期 2,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00
23年3月期	—	500.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	500.00 ～2,000.00	1,000.00 ～2,500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	20.0	100	—	80	—	30	—	1,507.01

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 20,407株 22年3月期 20,407株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 500株 22年3月期 500株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 19,907株 22年3月期3Q 19,907株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今度様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)におけるわが国経済は、高い成長を続ける新興国を背景に輸出の増加など企業収益に改善の兆しが見られるものの、雇用・所得情勢は依然として厳しく個人の消費意欲が低迷するなど、景気に対する先行き不透明感は払拭されないまま推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては中長期的な成長に向け、より多くのおお客様にご支持いただけるよう提供するサービス、製品・商品のより一層の拡充を進めてまいりました。

ファッションコマース事業では、ファッション通販雑誌『大人Look!s』の発行回数を年2回から年4回に増刊し5月と8月に新たに発行(当連結会計年度より5月、8月、10月、2月の年4回発行、従来は10月と2月の年2回)したことに加え、12月には成長著しい中国においてファッション通販雑誌『Look!s』の中国版『昕薇Look!s』を人気ファッション誌「昕薇(中国版ViVi)」を出版する中国紡織出版社より発行し、新たな収益基盤の構築を進めました。

さらに、株式会社バンダイナムコゲームスが展開していたモバイルECサイト『LOVE EX バーゲン』(平成15年2月開設)を昨年10月より同社と共同で運営することとした他、エイベックス通信放送株式会社と携帯電話向け動画配信サイト「BeeTV」において配信される番組「Topping Fashion Magazine」等と連動したショッピングサイトを運営することで業務提携し、昨年11月からサービスを開始するなど、新たな収益機会の創出に取り組みました。

コスメ事業におきましては、テレビCMなどプロモーション強化、新製品開発の促進、新基幹システムの導入を進めるなど、事業基盤の強化を進めてまいりました。

生活雑貨事業におきましては、新規取引先の獲得、物流体制の見直し、基幹システムの開発の促進など、事業基盤の強化を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、ファッションコマース事業において、ファッション通販雑誌『大人Look!s』の増刊や一昨年9月1日にKDDI株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社と共同で設立したファッションECサイト『au one Brand Garden』が期初より業績に寄与したこと、さらに『LOVE EX バーゲン』の共同運営を開始するなど事業規模を拡大いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高61億19百万円(前年同期比10.4%増)、営業損失18百万円(前年同期は69百万円の損失、51百万円の改善)、経常損失29百万円(前年同期は65百万円の損失、36百万円の改善)、四半期純損失33百万円(前年同期は1億74百万円の利益)となりました。

四半期純利益につきましては、前年同期には、特別利益及び法人税等調整額の計上など特殊要因が含まれております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[ファッションコマース事業]

ファッションコマース事業は、ファッション通販雑誌『Look!s』『大人Look!s』、ファッションECサイト『Stylife』(<http://www.stylife.co.jp/>)、『nuan+』(<http://www.nuan.gr.jp/>)、『OUTLET CHU:SE』(<http://chuse.jp/>)、モバイルECサイト『スタイライフ☆Look!s』の自社メディア及びKDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社との共同サイト『au one Brand Garden』等によるファッション関連アイテムの通信販売が主なものであります。

当第3四半期連結累計期間のファッションコマース事業につきましては、雑誌をメディアとするLook!s部門において『大人Look!s』を昨年5月と8月に新規発行したことに加え、受注専用サイト『Look!s the net』をショッピングサイト(従来は商品番号を入力するだけで商品画像などによる確認はできなかったが、商品画像や商品説明などを確認しながら購入できる)としてリニューアル強化いたしました。さらに、ネット部門において『au one Brand Garden』の期初から業績寄与や『LOVE EX バーゲン』など新たなメディアによる収益機会の拡大などにより、増収となりました。

利益面においては、雑誌の発行回数の増加による製造原価の増加や『au one Brand Garden』の運営等に伴うシステム投資による減価償却費が前年同期に比べ増加いたしました。しかし、売上拡大により、前年同期に比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高48億16百万円(前年同期比15.3%増)、営業損失23百万円(前年同期は1億11百万円の損失、87百万円の改善)となりました。

〔コスメ事業〕

コスメ事業は、㈱ハイマックスにおける化粧品販売等が主なものであります。

当第3四半期連結累計期間につきましては、女優の紺野美沙子さんを起用したテレビCMの放映などプロモーションを継続して強化し、新規顧客の獲得を進めるとともに、スタイライフのECノウハウの投入等によるショッピングサイト『豆腐の盛田屋』(<http://www.tofu-moritaya.com/>)の規模拡大に注力いたしました。一方、新製品『SOYS RICH』の投入及びプロモーション展開が遅れたことから、売上が一時的に伸び悩みました。

以上の結果、売上高7億65百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益6百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

〔生活雑貨事業〕

生活雑貨事業は、ノーマディック㈱におけるバッグを中心とする生活雑貨の卸売が主なものであります。

当第3四半期連結累計期間につきましては、個人消費低迷による影響から既存取引先への卸売が伸び悩む中、新規取引先の開拓を強化するとともに、ノーマディックオフィシャルECサイト (<http://www.ec-nomadic.com/>)をはじめとするEC事業の売上拡大に注力いたしました。

一方、利益面では、物流体制の見直しによる一時的な費用増加などにより減益となりました。

以上の結果、売上高5億19百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益2百万円（前年同期比94.2%減）となりました。

〔その他事業〕

その他事業は、他社の通信販売業務をサポートするフルフィルメント事業などが主なものであります。

当第3四半期連結累計期間につきましては、フルフィルメント事業の受託が減少いたしました。

以上の結果、売上高18百万円（前年同期比54.7%減）、営業損失3百万円（前年同期は11百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ20,379千円減少となりました。

この主な要因は、商品及び製品が311,715千円増加した一方、現金及び預金が195,981千円、受取手形及び売掛金が76,510千円、未収入金が91,293千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ141,020千円増加となりました。

この主な要因は、無形固定資産が145,677千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ120,640千円増加し、5,023,060千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ31,592千円減少となりました。

この主な要因は、短期借入金が150,000千円減少し、1年内返済予定の長期借入金が75,191千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ225,356千円増加となりました。

この主な要因は、長期借入金が105,450千円増加、リース債務が127,988千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ193,763千円増加し、2,740,869千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計期間末に比べ73,122千円減少となりました。

この主な要因は、四半期純損失33,452千円を計上し、34,837千円の配当を行ったこと等によるものであります。

この結果、純資産合計は、2,282,190千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末残高より195,996千円減少し、579,005千円（前年同四半期末残高は660,561千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、70,535千円の資金の減少（前年同四半期は55,279千円の資金の減少）となりました。これは主に、たな卸資産の増加343,155千円等の支出要因が、減価償却費128,373千円、売上債権の減少41,420千円、未収入金の減少50,839千円、仕入債務の増加41,322千円等の収入要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、104,759千円の資金の減少（前年同四半期は138,728千円の資金の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出94,754千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、19,502千円の資金の減少（前年同四半期は201,623千円の資金の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純減額150,000千円、長期借入の返済による支出103,359千円、配当金の支払額34,837千円等の支出要因が、長期借入れによる収入284,000千円の収入要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

ファッションコマース事業におきましては、当第3四半期連結累計期間までに、新たなメディアの開設やデバイスへの対応を行うなどお客様との接点を拡大させるとともに、魅力ある商品やサービスの拡充を推進し、売上の拡大、利益改善を着実に進めてまいりました。第4四半期も引き続き、より一層魅力ある商品、付加価値の高いサービスの拡充に努め、お客様の“欲しい”にお応えし、新規顧客会員の獲得促進、既存顧客会員のリピート率、アクティブ率の向上を促進してまいります。

コスメ事業におきましては、新製品『SOYS RICH』をはじめ製品認知度の向上、ショッピングサイト『豆腐の盛田屋』の規模拡大に注力し、新規顧客の開拓を促進するとともに、リピート率の向上を図ってまいります。

生活雑貨事業につきましては、新規取引先の開拓を継続して強化するとともに、新規商品の企画開発力の強化、ノーマディックオフィシャルサイトと中心とするEC事業の規模拡大に取り組んでまいります。

以上、主要3事業において諸施策を着実に実施し、業績の向上を図ってまいります。

平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が、前連結会計年度末の算定したものと変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒実績率を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準適用指針第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	588,083	784,064
受取手形及び売掛金	898,813	975,323
商品及び製品	941,725	630,009
仕掛品	31,952	19,192
原材料及び貯蔵品	48,864	30,185
その他	214,155	305,415
貸倒引当金	△1,547	△1,764
流動資産合計	2,722,047	2,742,427
固定資産		
有形固定資産	205,757	213,775
無形固定資産		
のれん	374,775	394,120
その他	631,293	466,270
無形固定資産合計	1,006,068	860,391
投資その他の資産		
投資有価証券	796,248	818,597
その他	293,636	267,763
貸倒引当金	△698	△535
投資その他の資産合計	1,089,185	1,085,824
固定資産合計	2,301,012	2,159,991
資産合計	5,023,060	4,902,419
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	715,495	674,172
未払金	171,597	169,154
短期借入金	800,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	213,003	137,812
未払法人税等	12,655	9,275
賞与引当金	29,973	30,864
返品調整引当金	16,008	35,089
販売促進引当金	24,941	20,854
その他	112,995	101,040
流動負債合計	2,096,670	2,128,262
固定負債		
長期借入金	397,640	292,190
退職給付引当金	29,285	31,726
役員退職慰労引当金	—	17,333
その他	217,273	77,593

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債合計	644,199	418,843
負債合計	2,740,869	2,547,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,456,775	1,456,775
資本剰余金	700,455	700,455
利益剰余金	182,302	250,592
自己株式	△56,968	△56,968
株主資本合計	2,282,565	2,350,855
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△374	4,457
評価・換算差額等合計	△374	4,457
純資産合計	2,282,190	2,355,313
負債純資産合計	5,023,060	4,902,419

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	5,543,054	6,119,370
売上原価	3,277,296	3,751,332
売上総利益	2,265,758	2,368,037
返品調整引当金戻入額	27,220	35,089
返品調整引当金繰入額	18,038	16,008
差引売上総利益	2,274,940	2,387,119
販売費及び一般管理費	2,344,687	2,405,498
営業損失(△)	△69,747	△18,379
営業外収益		
受取利息	3,070	227
持分法による投資利益	1,496	—
保険解約返戻金	6,603	—
その他	8,691	5,039
営業外収益合計	19,862	5,267
営業外費用		
支払利息	13,450	13,295
株式交付費償却	508	—
持分法による投資損失	—	436
その他	1,877	2,919
営業外費用合計	15,837	16,651
経常損失(△)	△65,721	△29,763
特別利益		
固定資産売却益	461	—
貸倒引当金戻入額	148,968	—
特別利益合計	149,430	—
特別損失		
固定資産除却損	228	45
投資有価証券評価損	—	1,054
投資有価証券売却損	442	8,114
物流拠点移転費用	11,314	—
債権回収関連費用	12,231	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	668
特別損失合計	24,216	9,883
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,492	△39,647
法人税、住民税及び事業税	26,876	16,831
法人税等調整額	△141,749	△23,025
法人税等合計	△114,873	△6,194
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△33,452
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,365	△33,452

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	59,492	△39,647
減価償却費	89,779	128,373
のれん償却額	19,345	19,345
株式交付費償却	508	—
持分法による投資損益 (△は益)	△1,496	436
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△288,890	△53
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	272	△2,440
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,324	△17,333
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,038	△891
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	4,699	4,087
返品調整引当金繰入額	18,038	16,008
受取利息及び受取配当金	△3,158	△258
為替差損益 (△は益)	△899	1,198
支払利息	13,450	13,295
固定資産売却損益 (△は益)	△461	—
固定資産除却損	3,577	45
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△21,112	645
投資有価証券売却損益 (△は益)	442	8,114
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,054
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,387	41,420
たな卸資産の増減額 (△は増加)	27,586	△343,155
未収入金の増減額 (△は増加)	88,954	50,839
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△3,170	△2,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,921	41,322
未払金の増減額 (△は減少)	△427,226	7,573
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	418,534	△162
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,258	△20,603
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	16,894	△3,113
その他	△4,398	12,523
小計	28,322	△83,731
利息及び配当金の受取額	465	258
利息の支払額	△13,543	△13,353
法人税等の支払額	△97,949	△15,119
法人税等の還付額	27,426	41,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,279	△70,535

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△109,062	△9,077
定期預金の払戻による収入	9,037	9,062
有価証券の償還による収入	150,000	—
有形固定資産の取得による支出	△46,970	△15,440
有形固定資産の売却による収入	1,109	483
無形固定資産の取得による支出	△172,163	△94,754
投資有価証券の売却による収入	12,312	4,605
敷金及び保証金の差入による支出	△466	△64
その他	17,475	425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,728	△104,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,000	△150,000
長期借入れによる収入	100,000	284,000
長期借入金の返済による支出	△84,999	△103,359
配当金の支払額	△49,767	△34,837
リース債務の返済による支出	△13,610	△15,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	201,623	△19,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	899	△1,198
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,515	△195,996
現金及び現金同等物の期首残高	652,046	775,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	660,561	579,005

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	ファッション ンコマース 事業 (千円)	コスメ事業 (千円)	生活雑貨事 業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,753,305	327,207	168,690	6,235	2,255,439	—	2,255,439
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	184	—	5,618	5,803	(5,803)	—
計	1,753,305	327,392	168,690	11,854	2,261,243	(5,803)	2,255,439
営業利益	116,302	21,092	2,685	1,498	141,578	—	141,578

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	ファッション ンコマース 事業 (千円)	コスメ事業 (千円)	生活雑貨事 業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,175,583	790,481	537,184	39,805	5,543,054	—	5,543,054
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	1,586	—	10,866	12,452	(12,452)	—
計	4,175,583	792,067	537,184	50,672	5,555,506	(12,452)	5,543,054
営業利益又は損失 (△)	△111,510	△7,282	37,709	11,336	△69,747	—	△69,747

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

ファッションコマース事業

通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「Stylife」「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、及びモバイルショッピングサイト「スタイライフ☆Look!s」等による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業。

コスメ事業

コスメ商品の企画・製造・販売事業。

生活雑貨事業

バッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業。

その他事業

通販支援事業等。

3 「消去又は全社」では、セグメント間の内部取引に関して、相殺消去を行なっております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報は入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業活動を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ファッションコマース事業」「コスメ事業」「生活雑貨事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ファッションコマース事業」は、通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「stylife」「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、およびモバイルショッピングサイト「スタイライフLook!s」「au one Brand Garden」による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業を行っております。「コスメ事業」は主に㈱ハイマックスにおいてコスメ商品の企画・製造・販売を行っております。「生活雑貨事業」は主にノーマディック㈱においてバッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合 計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファッショ ンコマース 事業	コスメ事業	生活雑貨事 業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,816,497	765,825	519,023	6,101,346	18,024	6,119,370	—	6,119,370
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替額	—	677	94	772	—	772	(772)	—
計	4,816,497	766,503	519,117	6,102,118	18,024	6,120,142	(772)	6,119,370
セグメント利益又 は損失 (△)	△23,907	6,779	2,182	△14,944	△3,435	△18,379	—	△18,379

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合 計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファッシ ンコマース事 業	コスメ事 業	生活雑貨事 業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,757,175	259,924	162,278	2,179,378	6,535	2,185,913	—	2,185,913
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替額	—	601	35	636	—	636	(636)	—
計	1,757,175	260,525	162,314	2,180,014	6,535	2,186,550	(636)	2,185,913
セグメント利益又 は損失 (△)	98,564	1,620	526	100,711	△1,241	99,469	—	99,469

(注) 1 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通販支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と一致しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。